

Case 347: CISG 9
Germany: Oberlandesgericht Dresden; 7 U 720/98
9 July 1998
Original in German
Unpublished

A Turkish seller, the plaintiff, and a German buyer, the defendant, came to an agreement about the delivery of textiles. Later, the buyer demanded reduction of the purchase price in the amount of a penalty agreed upon under a previous agreement. The seller did not answer the buyer's request. It delivered the textiles and sued the buyer for the purchase price. The lower court granted the seller's claim and gave no effect to the reduction of the purchase price by the buyer.

The court of appeal confirmed this judgement. It held that the seller did not consent to the buyer's reduction of the purchase price. The buyer did not prove that there was a usage known in international trade whereupon silence to a commercial letter of confirmation amounted to consent (article 9 CISG).

トルコの売主(原告)とドイツの買主(被告)は、織物の引渡しについての合意に到達した。その後、買主は以前の合意の下で合意した違約金の額について、購入代金の減額を要求した。売主はこの要求に応じなかった。売主は織物を引渡し、買主に対する購入代金についての訴えが提起された。第一審は売主の要求を認め、買主の要求する購入代金の減額の効果は認められなかった。

控訴審は、当該判決を維持した。控訴審は、売主は買主に対する購入代金の減額に同意していないと判示した。買主は商事確認書に対する沈黙は、同意に相当するという国際取引上の慣習を立証しなかったのである(CISG9条)。

第9条

- (1) 当事者は合意した慣習及び当事者間で確立した慣行に拘束される。
- (2) 当事者は、別段の合意がない限り、当事者双方が知り、又は知っているべきであった慣習であって、国際取引において、関係する特定の取引分野において同種の契約をする者に広く知られ、かつ、それらの者により通常遵守されているものが、黙示的に当事者間の契約又はその成立に適用されることとしたものとする。